

高知県感染症発生動向調査（週報）

2023年 第34週（8月21日～8月27日）

★県内での感染症発生状況

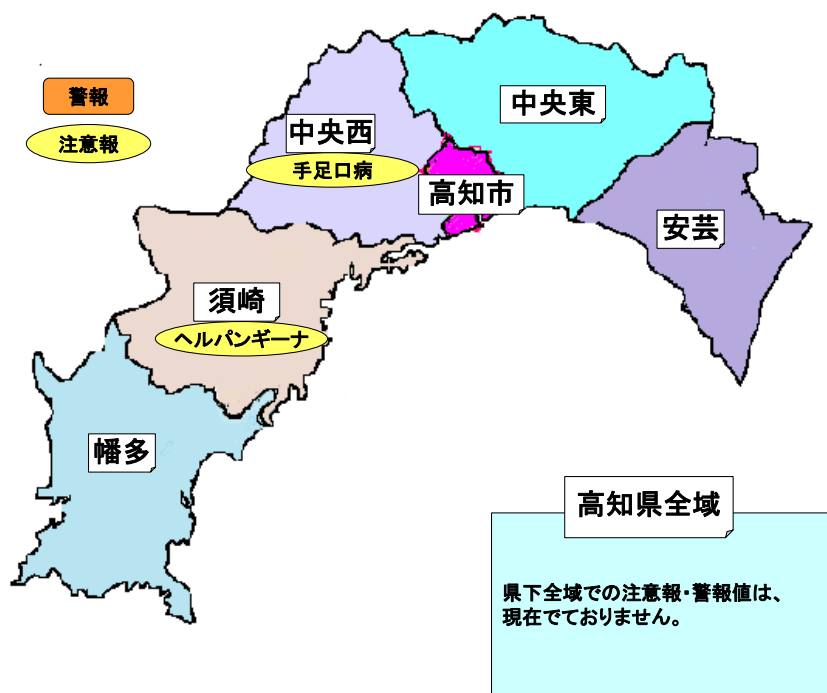
インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患5疾患）

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
新型コロナウイルス感染症	→	19.86	全ての地域で横ばいです
RSウイルス感染症	↘	2.85	須崎、安芸で急減、県全域、幡多で減少していますが、中央東で増加しています。
感染性胃腸炎	→	1.42	中央西で急減、高知市、幡多で減少していますが、中央東、須崎で急増、安芸で増加しています。
手足口病	↗	1.08	中央西、須崎、安芸、幡多で急増、県全域、高知市で増加し、中央西では注意報値を超えています。
ヘルパンギーナ	→	1.04	中央西、高知市、幡多で減少していますが、須崎、安芸で急増し、須崎では注意報値を超えています。

<推移の基準>

急増	↑	前週と比較し、2倍以上の場合
増加	↗	前週と比較し、1.2倍以上～2倍未満の場合
横ばい	→	前週と比較し、0.8倍以上～1.2倍未満の場合
減少	↘	前週と比較し、0.5倍以上～0.8倍未満の場合
急減	↓	前週と比較し、0.5倍未満の場合

★地域別感染症発生状況



【感染症予防の基本】

手洗い：感染症予防の基本は手洗いです

- ・爪は短く切っていますか？
- ・指輪・時計ははずしていますか？

- 1) 石けんを泡立て、てのひらをよくこすります
- 2) 手の甲、指の間や指先、ツメの間まで丹念にこすります
- 3) 親指をねじり洗いし、手首も忘れずにあらいます
- 4) 石けんを洗い流し、清潔なタオルで拭き取って乾かします

汚れの残りやすいところも丁寧に：指先、指の間、爪の間、親指の周り、手首、手のしわ
タオルの共有は避けましょう。



★県内で注目すべき感染症（注意点や予防方法）

○新型コロナウイルス感染症（COVID-19）

主な症状は発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状であり、頭痛、下痢、味覚障害、嗅覚障害を呈する場合があります。

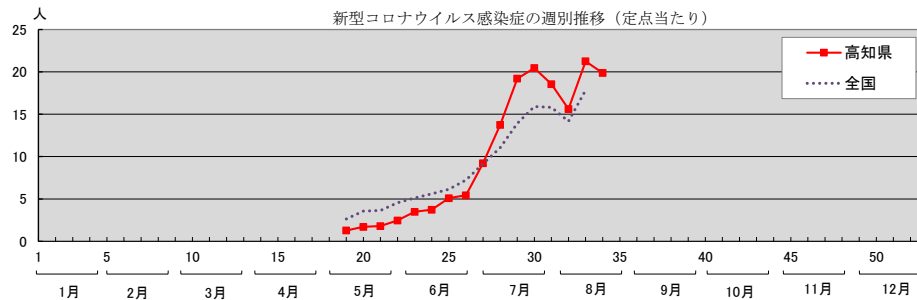
感染者の口や鼻から、咳、くしゃみ、会話等のときに排出されるウイルスを含む飛沫又はエアロゾルと呼ばれる更に小さな水分を含んだ状態の粒子を吸入するか、感染者の目や鼻、口に直接的に接触することにより感染します。

症状のある場合に外出する際は、人混みは避け、マスクを着用しましょう。また、高齢者や基礎疾患のある方は感染すれば重症化リスクも高まります。「感染症予防の基本」をしっかりと実行しましょう。

新型コロナウイルス感染症（高知県特設サイト）：<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/111301/info-COVID-19.html>

●定点医療機関からの報告数

	新規感染者数	定点当たり感染者数
第30週 7/24～7/30	900	20.45
第31週 7/31～8/6	816	18.55
第32週 8/7～8/13	687	15.61
第33週 8/14～8/20	935	21.25
第34週 8/21～8/27	874	19.86



・新型コロナウイルス感染症定点医療機関数：44

・新型コロナウイルス感染症の届出基準：発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状を有する者について分離・同定による病原体の検出、病原体遺伝子の検出、抗原定性検査・抗原定量検査による抗原の検出などの検査方法により新型コロナウイルス感染症と診断した場合。

又は発熱または呼吸器症状（軽症の場合を含む）を呈する者であって新型コロナウイルス感染症であることが確定した者と同居している者であり医師が総合的に診断した場合。

●その他の情報

	重症者数 (各週末時点)	新規 入院者数	入院患者数 (各週末時点)	検査数	備考
第30週 7/24～7/30	11	117	231	6,260	
第31週 7/31～8/6	12	105	194	6,176	
第32週 8/7～8/13	13	113	232	4,881	
第33週 8/14～8/20	9	121	235	6,529	
第34週 8/21～8/27	11	117	257	5,894	

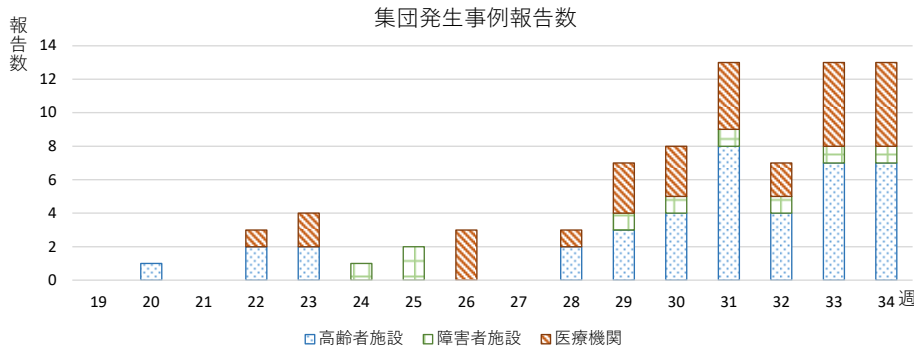
「検査数」は、外来対応医療機関で実施した PCR 及び抗原検査数です。

8月30日14時時点で集計していますので、国の公表数と異なる場合があります。

掲載数は、遅れて報告されたり修正されたりする場合がありますため、暫定値となっています。

●集団発生事例報告数（施設種別）

	高齢者施設	障害者施設	医療機関	計
第 30 週 7/24～7/30	4	1	3	8
第 31 週 7/31～8/6	8	1	4	13
第 32 週 8/7～8/13	4	1	2	7
第 33 週 8/14～8/20	7	1	5	13
第 34 週 8/21～8/27	7	1	5	13



データは報告数集計として公開するものであり、後日修正される場合があります。

集団発生とは施設等から福祉保健所等に集団発生の報告があった場合（10名以上または全利用者の半数以上発生した場合）

<予防方法>

- ・手洗い・消毒は感染予防に特に有効です。
- ・密閉・密集・密接の回避と家やオフィスなどの換気を十分にしましょう。
- ・医療機関受信時や混雑した電車やバスに乗車する時など、効果的な場面でのマスク着用をお願いします。

【学校感染症】

学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「発症した後5日を経過（発症日を0日目とカウント）し、かつ、症状が軽快した後1日を経過（軽快した日を0日目とカウント）するまで」と規定される学校感染症（第2種）です。

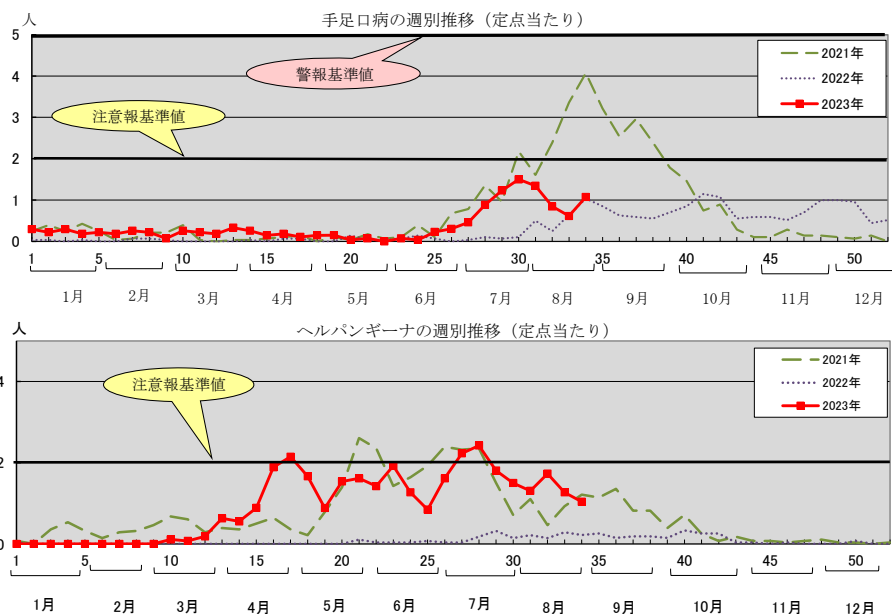
○夏型感染症（手足口病・ヘルパンギーナ）

夏型感染症は、例年、6月頃から5歳以下の乳幼児を中心に報告数が増えはじめ、7～8月頃にピークとなります。

手足口病は、通常は3～5日の潜伏期において、口の中、手のひら、足の裏や足背などに2～3mmの水疱性発疹ができます。ほとんどの発病者は数日間のうちに治る病気ですが、ごくまれに髄膜炎や脳炎などを生じることがありますので、高熱や嘔吐、頭痛などがある場合は注意してください。また、倦怠感や口腔内の痛みなどから食事や水分を十分にとれず、脱水になることもありますので、こまめな水分補給を心がけてください。

ヘルパンギーナは、発熱と口腔粘膜にあらわれる水疱性の発疹を主症状としたいわゆる「夏かぜ」の代表的疾患です。2～4日の潜伏期の後、突然の高熱、咽頭痛や咽頭発赤が現れます。口腔内の痛みがあり食事がとり難いため、柔らかく、薄味の食事を工夫し、水分補給を心掛けましょう。

手足口病やヘルパンギーナの原因ウイルスであるエンテロウイルスは、回復後も便中から検出されることもあるため、この病気にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。



<予防方法>

- ・手洗い・うがいが大切です。流水と石けんでよく手を洗いましょう。
- ・タオル・コップ等の共用、感染者との密接な接触はさけるようにしましょう。
- ・回復後も2～4週間の長期にわたり便からウイルスが検出されることがあるので、特に、外出後、食事の前、トイレの後の手洗いを徹底しましょう。

【学校感染症】

手足口病・ヘルパンギーナ：学校保健安全法（同法施行規則第19条）では欠席者が多くなり、授業などに支障をきたしそうな場合など、「学校長が学校医と相談をして第3種学校感染症としての扱いをすることがあり得る病気」となっています。

ダニの感染症（SFTS・日本紅斑熱）に注意！

第34週に安芸から「日本紅斑熱」の発生届が1例ありました。

「日本紅斑熱」や「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」は屋外に生息するダニの一種で、比較的大型（吸血前で3～4mm）の「マダニ」が媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは、暖くなる春から秋にかけて活動が活発になります。人も野外での活動が多くなることから、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。また、飼育している動物の健康状態の変化に注意し、動物が体調不良の際には、咬まれたり舐められたりしないように注意してください。必要な場合は動物病院で受診しましょう。また、ペットがマダニに咬まれないようダニ駆除剤を使用することも有効ですので獣医師に相談しましょう。

【マダニに咬まれないために】

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。
- 飼っているネコやイヌが外で咬まれることもあります。ブラッシング等をこまめにしてマダニを持ち込まないようにしましょう。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合や、動物との接触後体に不調を感じたら、医療機関を受診してください。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニ等に咬まれたこと）、動物との接触状況等を申し出てください。

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関するQ&A（厚生労働省）
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts_qa.html
- 高知県衛生環境研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

★ 全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2 類	結 核	1	32	20 歳代 男性	高知市
		1		60 歳代 男性	
3 類	腸管出血性大腸菌感染症	1	3	15～19 歳代 女性	須 崎
		1		20 歳代 女性	中央東
4 類	日本紅斑熱	1	11	70 歳代 女性	安 芸

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
34	急性上気道炎	38℃,上気道炎	2か月	女	幡多	Rhinovirus
34	新型コロナウイルス感染症	39℃,咳嗽	18	男	須崎	SARS-CoV-2(XBB.1)
34	新型コロナウイルス感染症	39℃,鼻汁 (+)	7	男	須崎	SARS-CoV-2(XBB.1)
34	新型コロナウイルス感染症	上気道炎	24	女	幡多	SARS-CoV-2(XBB.1)
34	新型コロナウイルス感染症	39℃,咳嗽	6	女	幡多	SARS-CoV-2(XBB.1)
34	新型コロナウイルス感染症	38℃,上気道炎	82	女	高知市	SARS-CoV-2(EG.5)
34	新型コロナウイルス感染症	38℃	73	男	高知市	SARS-CoV-2(HH.1)
34	新型コロナウイルス感染症	39℃,鼻汁	9	女	高知市	SARS-CoV-2(FY.3)
34	新型コロナウイルス感染症	38℃,上気道炎	10	男	高知市	SARS-CoV-2(FY.6)
34	新型コロナウイルス感染症	40℃,咳嗽	1	男	須崎	SARS-CoV-2(FY.2)
34	新型コロナウイルス感染症	-	32	女	幡多	SARS-CoV-2(HF.1)
34	新型コロナウイルス感染症	39℃,咳嗽	18	女	須崎	SARS-CoV-2(GK.1)

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
33	新型コロナウイルス感染症	-	38	女	幡多	SARS-CoV-2(XBB.1)
33	新型コロナウイルス感染症	39℃,咳嗽	0か月	女	高知市	SARS-CoV-2(EG.1)
33	新型コロナウイルス感染症	39℃,肺炎,呼吸	88	男	高知市	SARS-CoV-2(EG.5)
33	新型コロナウイルス感染症	肺炎	70	男	高知市	SARS-CoV-2(EG.5)
33	新型コロナウイルス感染症	肺炎	65	男	高知市	SARS-CoV-2(EG.5)
33	新型コロナウイルス感染症	38℃,咽頭痛	14	男	須崎	SARS-CoV-2(EG.5)
33	新型コロナウイルス感染症	40℃	9	女	須崎	SARS-CoV-2(EG.5)
33	新型コロナウイルス感染症	上気道炎,	58	女	幡多	SARS-CoV-2(EG.5)
33	新型コロナウイルス感染症	39℃,咳嗽,上気道炎,頭痛	42	男	須崎	SARS-CoV-2(FL.10)
33	新型コロナウイルス感染症	39℃,咽頭痛	11	女	須崎	SARS-CoV-2(FK.1)

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
安芸	田野病院小児科	アデノウイルス扁桃炎 1 例 (8 歳女)
中央東	おひさまこどもクリニック	hMPV 気管支炎 2 例 (2 歳男女)
	早明浦病院小児科	RS ウイルス感染症急増。4 か月～2 歳 8 人 手足口病、ヘルパンギーナは微減 COVID-19 3 例 (3 歳男、4 歳女、11 歳男)
	JA 高知病院小児科	RS ウイルス感染症 7 例 アデノウイルス感染症 2 例 カンピロバクター腸炎 3 例 水痘 3 例 手足口病 2 例 突発性発疹 1 例 マイコプラズマ感染症 1 例 hMPV 感染症 2 例 COVID-19 9 例
	野市中央病院小児科	COVID-19 1 例 (13 歳男)
高知市	けら小児科・アレルギー科	カンピロバクター腸炎 2 例 (11 歳、16 歳) ノロウイルス胃腸炎 1 例 (5 歳) RS ウイルス気管支炎 9 例 hMPV 気管支炎 5 例 (1 歳 2 人、2 歳 3 人) COVID-19 46 例
	三愛病院小児科	アデノウイルス咽頭炎 1 例 (3 歳男)
	福井小児科・内科・循環器科	水痘 1 例 (11 歳男：ワクチン済) 溶連菌感染症 5 例 手足口病 7 例 ヘルパンギーナ 6 例 COVID-19 27 例
	細木病院小児科	アデノウイルス感染症 2 例 (11 か月女、2 歳女：姉妹) hMPV 感染症 1 例 (1 歳女)
中央西	くぼたこどもクリニック	RS ウイルス 1 例 (11 か月男：須崎市) 手足口病 1 例 (1 歳女：県外から帰省) ヘルパンギーナ 1 例 (5 歳男：津野町) COVID-19 8 例
須崎	もりはた小児科	RS ウイルス感染症 4 例 カンピロバクター腸炎 3 例 hMPV 感染症 2 例 COVID-19 16 例 (6 歳以下：14 人、7～14 歳：2 人)
幡多	さたけ小児科	水痘 1 例 (3 歳女：ワクチン 2 回接種済) RS ウイルス 2 例 (1～4 歳) COVID-19 1 例 (8 歳)

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

※この情報に記載のデータは 2023 年 8 月 28 日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。

★高知県感染症情報

疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報(55定点医療機関)

第34週 令和5年8月21日(月)～令和5年8月27日(日)

高知県衛生環境研究所

定点名 (定点数)	保健所 疾病名	高知県						計	前週	全国(33週)	高知県(34週末累計) RS/1/2～RS/8/27	全国(33週末累計) RS/1/2～RS/8/20
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多					
インフルエンザ COVID-19(4)	インフルエンザ	2	1	4	2		1	10 (0.23)	10 (0.23)	4,913 (1.01)	5,464 (124.18)	764,401 (155.11)
	新型コロナウイルス感染症	54	158	327	112	85	138	874 (19.86)	935 (21.25)	86,756 (17.84)	7,164 (162.82)	671,299 (136.22)
小児科 (26)	咽頭結膜熱				1	1	1	3 (0.12)	4 (0.15)	1,952 (0.63)	158 (6.08)	36,903 (11.76)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			10			3	17 (0.65)	18 (0.69)	2,561 (0.83)	455 (17.50)	92,176 (29.36)
	感染性胃腸炎	5	7	16		2	7	37 (1.42)	45 (1.73)	6,579 (2.13)	3,167 (121.81)	529,314 (168.63)
	水痘		4	4			2	10 (0.38)	()	289 (0.09)	97 (3.73)	9,416 (3.00)
	手足口病	1	5	12	6	2	2	28 (1.08)	16 (0.62)	2,239 (0.73)	334 (12.85)	44,017 (14.02)
	伝染性紅斑							()	1 (0.04)	30 (0.01)	14 (0.54)	1,365 (0.43)
	突発性発疹		1	4			2	7 (0.27)	9 (0.35)	603 (0.20)	240 (9.23)	26,943 (8.58)
	ヘルパンギーナ	1	4	13	3	4	2	27 (1.04)	33 (1.27)	2,873 (0.93)	855 (32.88)	172,566 (54.97)
	流行性耳下腺炎							()	()	109 (0.04)	17 (0.65)	4,605 (1.47)
	RSウイルス感染症		18	32	1	4	19	74 (2.85)	96 (3.69)	2,492 (0.81)	1,126 (43.31)	133,912 (42.66)
眼科(3)	急性出血性結膜炎							()	()	4 (0.01)	()	249 (0.36)
	流行性角結膜炎							()	()	325 (0.47)	6 (2.00)	6,852 (9.87)
基幹 (8)	細菌性髄膜炎							()	()	10 (0.02)	4 (0.50)	239 (0.50)
	無菌性髄膜炎							()	()	20 (0.04)	5 (0.63)	408 (0.85)
	マイコプラズマ肺炎							()	()	13 (0.03)	19 (2.38)	534 (1.11)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							()	()	()	()	18 (0.04)
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)							()	()	()	6 (0.75)	111 (0.23)
計	63	198	422	125	102	177	1,087		111,768	19,131	2,495,328	
小児科定点当たり人数	(17.50)	(22.41)	(33.75)	(34.00)	(29.75)	(24.98)	(27.90)			(535.58)		
前週 (小児科定点当たり人数)	81 (23.50)	165 (18.43)	459 (37.04)	126 (34.00)	112 (31.75)	224 (31.61)		1,167 (30.02)				

注 () は定点当たり人数。

高知県感染症情報(55定点医療機関) 定点当たり人数

第34週

定点名 (定点数)	保健所 疾病名	高知県						計	前週	全国(33週)	高知県(34週末累計) RS/1/2～RS/8/27	全国(33週末累計) RS/1/2～RS/8/20
安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多							
インフルエンザ COVID-19(4)	インフルエンザ	0.50	0.10	0.29	0.50		0.13	0.23	0.23	1.01	124.18	155.11
	新型コロナウイルス感染症	13.50	15.80	23.36	28.00	21.25	17.25	19.86	21.25	17.84	162.82	136.22
小児科 (26)	咽頭結膜熱				0.50	0.50	0.20	0.12	0.15	0.63	6.08	11.76
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1.11			0.60	0.65	0.69	0.83	17.50	29.36
	感染性胃腸炎	2.50	1.17	1.78		1.00	1.40	1.42	1.73	2.13	121.81	168.63
	水痘		0.67	0.44			0.40	0.38		0.09	3.73	3.00
	手足口病	0.50	0.83	1.33	3.00	1.00	0.40	1.08	0.62	0.73	12.85	14.02
	伝染性紅斑								0.04	0.01	0.54	0.43
	突発性発疹		0.17	0.44			0.40	0.27	0.35	0.20	9.23	8.58
	ヘルパンギーナ	0.50	0.67	1.44	1.50	2.00	0.40	1.04	1.27	0.93	32.88	54.97
	流行性耳下腺炎									0.04	0.65	1.47
	RSウイルス感染症		3.00	3.56	0.50	2.00	3.80	2.85	3.69	0.81	43.31	42.66
眼科(3)	急性出血性結膜炎									0.01		0.36
	流行性角結膜炎									0.47	2.00	9.87
基幹 (8)	細菌性髄膜炎									0.02	0.50	0.50
	無菌性髄膜炎									0.04	0.63	0.85
	マイコプラズマ肺炎									0.03	2.38	1.11
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)											0.04
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)										0.75	0.23
計	17.50	22.41	33.75	34.00	29.75	24.98	27.90			535.58		
前週 (小児科定点当たり人数)	23.50	18.43	37.04	34.00	31.75	31.61		30.02				

病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ/COVID-19定点・小児科定点・眼科定点)

高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2023年 第34週)

